

第十六回東北高等学校剣道部杯争奪少年剣道錬成大会

日時・平成三十年十二月八日 土曜日
場所・東北高等学校 小松島校舎体育館

『超……寒い中、汗を流して頑張りました』

平成三十年十二月八日(土)東北高等学校剣道部杯争奪少年剣道錬成大会が東北高校小松島校舎体育館において華々しく開催されました。今大会は、百十七名(低学年四十八名・高学年六十九名)が参加しました。

開会に際し、本校剣道部父母会会長、渡部滋子様より『今大会に向けて朝早くから、数多く参加して頂いた事に感謝申し上げます。』『思い出に残る試合にして下さい』とお言葉を頂きました。また、副校長、那須祐二先生からは『普段の稽古で精進した成果を遺憾なく発揮して欲しい』と激励の言葉を頂戴しました。佐藤幹太選手(小松島のびのび剣道クラブ)のやる気に満ち溢れた選手宣誓で試合開始。

低学年の部決勝戦。釈迦郡大和選手(台原体振少年剣道部)と藤島建選手(北仙台体育振興剣道部)の対決。釈迦郡選手は、素晴らしい足さばきと剣さばきを活かし相手を攻め崩す。藤島選手は、将来性を感じる試合運びで、決勝まで勝ち上がり調子を上げてきた。試合は、始めがかかった合図と共に釈迦郡選手が鋭いコテを決める。その後も釈迦郡選手がコテを追加し決勝戦を制した。

高学年の部決勝戦。藤野天輝(利府西剣道スポーツ少年団)と飯山堅選手(八幡剣友会)の対決。藤野選手は、昨年は、準優勝に終わり、今年こそ優勝を狙う。飯山選手は、堂々とした構えから、機会よく豪快な技を繰り出し決勝まで勝ち進んできた。前半、藤野選手のキレのあるメン返しドウを決め先制。試合後半、飯山選手も連続技を繰り出し反撃を続ける。試合終了間際、飯山選手の豪快なメンが決まり延長戦に入った。延長戦に入ってから両者、ほぼ互角の展開。延長から一分ほど経過した時、飯山選手が勝負をかけてメンに飛んだところを藤野選手が、紙一重のタイミングで会心のメン返しドウを決め、東北高校杯を手にした。

小野喜代男審判長(元東北高校副校長)の講評では、『この寒い中、選手全員よく戦った』『勝っても負けても怪我無く試合を終えることができた』ことが何よりよかった』との言葉で大会が締めくくられました。

本大会は、十六年前より各地域の子供たちの健全育成のために本学園・剣道部OB会・剣道部父母会が協賛し、社会に貢献できる取り組みをすることを目標に、立ち上がったものです。その趣旨に沿って、子供達は、剣道の勝敗にこだわらず、寒い中、一生懸命試合をしてくれたことに感謝したいと思います。次回も多くの子供達に参加していただけるよう、大会関係者一同努力する所存です。

大会成績は次のとおり

▼個人戦低学年

- 優勝 釈迦郡 大和 (台原体振少年剣道部)
- 2位 藤島 健 (北仙台体育振興剣道部)
- 3位 伊深 ここみ (北仙台体育振興剣道部)
- 3位 高橋 龍叶 (利府西剣道スポーツ少年団)

▼個人戦高学年

- 優勝 藤野 天輝 (利府西剣道スポーツ少年団)
- 2位 飯山 堅 (八幡剣友会)
- 3位 中澤 萌衣 (鹿野少年剣友会)
- 3位 釈迦郡 日菜 (台原体振少年剣道部)

★精励賞

高橋 龍平 (台原体振少年剣道部)	庄子 亮介 (大沢剣友会)
土井 景斗 (北仙台体育振興剣道部)	藤野 天輝 (利府西剣道スポーツ少年団)
丹野 世渚 (若林誠剣会)	泉 あかり (幸町少年剣道教室)
田中 瑛太 (亙理町少年剣道練成会)	武田 優奈 (松島剣道スポーツ少年団)
武田 大和 (逢隈少年剣道練成会)	中澤 萌衣 (鹿野少年剣友会)
佐藤 幹太 (小松島のびのび剣道クラブ)	渡邊 晴仁 (利府友信館剣道クラブ)
飯山 堅 (八幡剣友会)	遠藤 清花 (栗生剣友会)

以上